

I 調査概要

1 調査の名称

ふるさと青森を愛する心と行動に関する県民の意識調査

2 調査の趣旨

本調査は、ふるさと青森を愛する心と行動に関する県民の意識、現状や課題などを把握し、ふるさと青森に愛着と誇りを持つ教育の充実に向けた生涯学習振興関連施策の方向性を検討するための基礎資料を得ることを目的として実施するものである。

3 調査対象

県内在住の20代～70代の一般県民 2,500人

4 調査方法

住民基本台帳及び選挙人名簿抄本に記載のある県民を対象に、県内市町村の人口構成比に応じて配分した人数を等間隔で抽出した。なお、調査票の印刷・発送・回収、調査結果の集計業務は、業者委託により実施した。

- ・調査業務委託先 BREST
- ・調査票の発送 令和6年12月2日
- ・回答期限 令和6年12月20日

5 回収結果

有効回答数(率)：878 (35.12%)

6 研究顧問

- ・越村 康英 氏（弘前大学教育学部 准教授）
- ・井上 丹 氏（八戸学院大学地域経営学部 准教授）

7 調査結果の見方

- ・グラフの中の「n=」は、設問に関する回答者を表している。
- ・結果数値（パーセント）は、小数第2位を四捨五入しており、合計が100%にならないこともある。